

ファシリテーター用資料～十人十色の子育て&親育ち～ステージ⑧「親と子のコミュニケーション」～毎日毎日のことだから～

対 象 :	幼児から小学校低学年の子をもつ親、保護者であるが、参加者は限定しない。 *対象者だけでプログラムを進めるよりも色々な立場の人が参加した方が、視野が広がり、気持ちが楽になる。(実践者のアンケート結果による)
方 法 :	参加型学習 (P:計画 D:実行 C:チェック A:改善・行動 サイクルを大切に実践する。)
時 間 :	90分程度 (臨機応変に)

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災を経て、子育てをしていくことに不安を抱えている親を含め、参加者が子育てへの希望をもち、安心できるようにする。</li> <li>『カンペキな親なんていない』『子育ての悩みや不安は誰にでもある』ということに気づき、肩の力が抜けてリラックスできるようにする。</li> <li>*『毎日楽しく子育てしたい!』と書いていても、家事・育児・仕事などに追われて、ついイライラガミガミしてしまう『愛情が愛情として子どもに伝わらない』—そんな悲しい時、子どもにとって何よりも家庭が明るく居心地のよい場所となるよう『気持ちの通うかかわり方』のヒントをつかんでもらう。</li> <li>*子どもが生まれたときの『喜び』を思い出すことで、『子どもへの無条件の愛情』を再認識する。</li> </ul>
-----	--

進行のポイント	<ol style="list-style-type: none"> <li>ゆっくり進めましょう。時間配分はあくまで目安です。 心をゆったりさせるために話す言葉もゆっくり、穏やかにしましょう。</li> <li>笑顔で進めましょう。参加者に緊張感を与えないよう、うなずきや共感も大切にしましょう。</li> <li>参加者のペースに合わせて進めましょう。 「書きたくない、言いたくない時は無理をしないでくださいね」と言っておきましょう。</li> <li>『参加型学習』ということを意識して進めましょう。 参加者同士がプログラムを進めながら、自然に作られていく雰囲気を作るため、評価をしたり、否定をしないで参加者と同じ目線で寄り添いながら進めましょう。</li> <li>ファシリテーター自身が『楽しく』進めましょう。</li> </ol>
---------	---

事前準備	①『親のみちしるべ』ステージ⑧のシート ②ペン・マジック ③模造紙 ④大きいサイズの付箋紙 ⑤掲示できるボード ⑥予算があれば簡単なお菓子、飲み物等 ⑦行政発行の資料や子育て関係のパンフレット等 ⑧ステージ⑧に必要なグッズ(ここでは、絵本『ママがおこると悲しいの』, ネーム用羽根付きハート折り紙, 折り方説明用紙, メッセージカード等)
------	---

時間	段階	参加者	形態	ファシリテーター	留意点	備考
20分	はじまり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇席に着く。</li> <li>◇胸ネームづくりで開始する。(羽根付きハートの折り紙)</li> <li>◇参加ルールを確認する。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>①アイスブレイク</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇あいさつゲームをする。(交流のきっかけづくりとして、あいさつを交わしながら握手をする。)</li> <li>◇グループ分けのゲームをする。</li> </ul>	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇会場の雰囲気づくりに配慮する。</li> <li>◇笑顔であいさつする。</li> <li>◇折り紙で羽根付きハートを折り、名前を書く。</li> <li>◇プログラムの趣旨を説明する。 慌ただしい日常から離れ、絵本の力を借りて『気持ちの通うかかわり方』のヒントをつかんでほしいと伝える。</li> <li>◇明るくファシリテーターの自己紹介をする。</li> <li>◇参加ルールを伝える。</li> <li>①アイスブレイク <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつゲーム 私は〇〇です。△△が好きです。と言って互いに握手を交わす。</li> <li>・「叩いた数だけ集合ゲーム」を行う。進行役が手を2回叩けば2人のグループ、回数を調節しながら最終的には4～5人グループをつくってもらう。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔で始める。</li> <li>・全員がゆったりとした気持ちになれるよう落ち着いて進める。</li> <li>・全員が正しく折ることができているか確認しながら進める。</li> <li>・ネームは本名でなくてもOK。</li> <li>・6つの参加ルールを確認する。</li> <li>・アイスブレイクはあくまで参考であり、参加者の人数や雰囲気に応じて和やかに進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付</li> <li>・資料確認</li> <li>・シール</li> <li>・マジック</li> <li>・折り紙</li> </ul>
25分	展開1 気持ち	<p style="text-align: center;"><b>②グループワーク1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇子どもが生まれた時からこれまでのことを振り返る。</li> <li>◇子育ての悩みごと(困っている・気になる)を各自付箋紙に記入する。(付箋紙に記入し、模造紙</li> </ul>	グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>②グループワーク1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育ての悩み」を読み、子どもが生まれたときの『喜び』を思い出してもらう。</li> <li>・その上で、子どもが生まれた子育ての悩みごと(困っている、気になる事)を各自付箋紙に記入してもらう。</li> <li>・グループ内で発表しながら意見を</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者全員が気持ちよく参加できるように配慮する。</li> <li>・参加者全員が聞き取れるようにゆっくりと話す。</li> <li>・すぐに書き出せなくても、少し時間をかけて待ってみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・ペン</li> <li>・付箋紙</li> <li>・模造紙</li> <li>・マジック</li> </ul>

		に貼り付けて発表する。) <ul style="list-style-type: none"> <li>◇子育ての不安や悩みの根源を考えてみる。</li> </ul>		書いた付箋紙をどんどん模造紙に貼り出してもらおう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• みんなもいろいろ失敗したり悩んだりしているんだということに気付いてもらう。</li> </ul>	※評価をしたり答えを導かないように。	
25分	展開2 気付き	<p><b>③グループワーク2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇毎日の子どもとの関わり方(コミュニケーションの質)を考える。</li> <li>◇子どものことを振り返り、感想を付箋紙に書き出し、模造紙に貼る。</li> </ul> <p><b>④発表</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇各グループ毎、まとめた模造紙をもとに発表する。</li> </ul> <p><b>⑤絵本読み聞かせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇絵本『ママがおこるとかなしいの』を聴く。</li> </ul>	グループ	<p>③グループワーク2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 普段、ついつい口癖になっている言葉(例:「早くしなさい!」「なんでできないの!」「だから言ったでしょう!」等)を振り返ったり、考えてもらえるように促す。</li> <li>• 「答えに正解はありません。ご自分の素直な気持ち(自分の心の声)にも耳を傾けてみましょう。」などと呼びかける。</li> </ul> <p>④発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 各グループごとに発表してもらおうが、発表しやすいように全体に声をかける。「これから〇〇グループが発表しますので、皆さんこちらに注目してください。」「参考にしたいなという意見があったら、ワークシートにメモを取っても良いですよ。」と呼びかける。</li> </ul> <p>⑤絵本の読み聞かせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 絵本『ママがおこるとかなしいの』を読む。</li> <li>• 絵本はゆっくり丁寧に読む。</li> <li>• ママやメグの気持ちを考えようよう配慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• すぐに書き出せなくても、少し時間をかけて待ってみる。</li> <li>• 無理に答えを引き出さない。感じてもらうことが大切です。</li> <li>• 子どものために言っているのだから、決して悪いことではないということを伝える。</li> </ul> <p>※評価をしたり答えを導かないように。</p> <p>※事前に読んで練習しておきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 参加者全員が聞き取れるようにゆっくりと話す。</li> </ul>	
20分	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「ありがとう」は自分も相手も元気になる言葉。あなたは誰にどんな言葉を伝えますか? メッセージカードにそれを書く。</li> </ul> <p><b>⑥振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ファシリテーターの話 を聴きながら、肩の力を抜いて良いということに気付く。</li> <li>◇アンケートを記入する。</li> <li>◇まとめのあいさつ</li> <li>◇参加者同士もあいさつを交わす。</li> </ul>	一斉・各自	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今伝えたい、感謝の言葉を一番大切な人へメッセージカードに書く。(自分自身へでもOK)</li> </ul> <p>*発表は時間や様子をみながら判断する。</p> <p>⑥振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「カンペキな親なんていない」「十人十色の子育て」で良いことを伝える。</li> <li>• 家庭が居心地の良い場所となるためにも「笑顔」「ありがとう」「良いことをほめる」等の声かけを大切にしていましようと呼びかける。</li> <li>• アンケートの記入をお願いする。</li> <li>• あいさつ(例)「今日はありがとうございました。また、お会いできる日を楽しみにしています。」</li> <li>• 「グループの皆さん同士もどうぞあいさつを交わしてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 家族のことを想いながら落ち着いてメッセージが書ける状況を作る。</li> <li>• 押しつけにならないように、穏やかに話しましょう。</li> <li>• 指導をしたり評価をしたりしないようにしましょう。</li> </ul> <p>• 一期一会の気持ちを込めてあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メッセージカード</li> <li>• ペン</li> <li>• アンケート用紙</li> <li>• ペン</li> </ul>
各自	フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇家庭での話題づくりにつなげる。</li> <li>◇一人になった時に自分と向き合い、もう一度振り返る。</li> </ul>	各自	<ul style="list-style-type: none"> <li>• いつものかわり方の癖に気づき、心のキャッチボールができるように日常生活で生かしてみる。</li> <li>• 可能であればアンケートをまとめ、後日配付する。家庭で少しずつ試してみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 可能であればシートの写真を撮り、内容を後日配布する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 振り返りシート</li> <li>• アンケート用紙</li> </ul>